

一般質問通告一覧

平成26年第3回島田市議会定例会
平成26年9月10日・11日・12日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成26年9月10日(水)

19番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	1
9番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	2
2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	3
11番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	4
12番	佐野義晴	議員(一問一答)	-----	5
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	6
17番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	7

平成26年9月11日(木)

3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	8
16番	富澤保宏	議員(一問一答)	-----	9
13番	福田正男	議員(一問一答)	-----	10
18番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	11
7番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	12
6番	森伸一	議員(一問一答)	-----	13

平成26年9月12日(金)

8番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	14
20番	平松吉祝	議員(一問一答)	-----	15
10番	曾根嘉明	議員(一問一答)	-----	16
5番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	17
4番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	18

1. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

前議会では、私も含め多くの同僚議員から新病院建設について質問があった。これまでの議論と全く違うところから、突如150億円の建設費が250億円になり建設場所もまちなかから一転現地へ。そして病床数は500床となり、規模も増大した。市長がかわったことによると言えばそれまでだが、市の政策に正当性があると説明を受けてきた市民には、不信感が募っているのではないかと危惧している。

今議会では、病院については同僚議員に質問を委ね、私の疑問は新たに設置された特別委員会や常任委員会で議論したいと思う。今回は、10月にも着工するのではないかと報道があったリニア中央新幹線について、そして、行政改革に基づいて進めてきた保育園民営化後の、市内民間保育園の運営の実態とそれに対する市の支援状況について伺う。

1. リニア中央新幹線工事の環境対策について

- (1) リニア中央新幹線建設工事に伴い、想定される環境への影響はどのようなことが考えられるか。あわせて、それぞれ環境保全対策を伺う。
- (2) 市長は建設場所の現地調査を行ったと聞いたが、どのような経緯から現地調査を行ったのか。また、視察を行った上での工事に対する市長の考えはどうか。
- (3) リニア中央新幹線が完成した場合の島田市のメリット、デメリットは何か。
- (4) 現時点で周辺住民、とりわけ島田市民の建設に対する理解は得られていると思うか。

2. 民間保育園の運営の支援は

- (1) これまで島田市立の保育園は何か所民営化されたのか。民営化された保育園と、移管後の保育園名を伺う。
- (2) 島田市立の保育園を民営化したことによる行政メリットはどのようなものがあるか。事業の成果を伺う。
- (3) 島田市立の保育園が民営化したことで、民間保育園の子育てに対する依存度が増している。待機児童問題など今後ますます民間保育園の運営を充実していかなければならない。民間保育園の運営・経営に対する市長の認識を伺う。
- (4) 今後、民間保育園に対する支援を充実する施策を考えているか。

2. 9番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 健康マイレージ事業への取り組みについて

社会の高齢化が急速に加速していく中、静岡県は、県民の健康寿命のさらなる延伸を目指して、平成24年度から、(1) ふじ33プログラムの普及、(2) 健康長寿の研究、(3) 企業表彰制度、(4) 健康マイレージ事業の推進の4本柱からなる「ふじのくに健康長寿プロジェクト」を開始し、全県的に普及に努めている。

島田市では、本年3月に「健康で自分らしく生きることのできるまち」を基本理念とした第2次健康増進計画を策定した。その中では基本理念の実現に向けて地域の場を活用した健康づくりが目標の一つに上げられ、行政の取り組みとして市民の主体的な健康づくり活動を支援するため、保健委員と連携し健康マイレージなどのポイント制を導入するとある。いよいよ来る9月28日から始まる健康マイレージ事業について、今後どのように推進していくのか伺う。

- (1) 市が導入する健康マイレージ制度について、目的、対象者、実施期間、ポイントシステム(ポイント数、自己申告やスタンププログラムの内容及び特典)はどうなっているのか。
- (2) 保健委員と連携しとあるが、本事業の推進体制はどうなっているのか。また、事業の運営に際して企業や事業所の協力を見込んでいるのか。
- (3) 地域の場を活用した健康づくりの一環と考えるが、目標数値や地域経済への波及効果などの成果をどのように考えているのか。

2. 少子化対策中「若者の晩婚化と未婚化への対策」について

少子高齢化の急速な進展に対応するため、少子化対策についてはこれまでさまざまな子育て支援策が講じられてきている。しかしながら、一方では女性の社会進出や非正規雇用の拡大などの社会経済情勢を背景として、若者の晩婚化と未婚化が社会問題化しつつある。今後こうした子育て支援以前の段階における対応が望まれるが、市の支援策について伺う。

- (1) 若者の晩婚化と未婚化の実態を把握しているのか。また、若者の晩婚化と未婚化の進行をどのように考えているのか。
- (2) 現在、市として若者の晩婚化と未婚化に何らかの対策を講じているのか。また、他市における取り組み事例を把握しているのか。
- (3) 過去に実施した「男女出会いの場創造事業」の成果と課題をどのように総括しているのか。また、今後改めて未婚の男女へ出会いの場を提供する取り組みや支援策を検討する考えはないか。

3. 減災に向けての広域連携について

市では、8月31日に総合防災訓練が自主防災組織を中心に全域で行われた。それぞれの地域の課題も浮き彫りになり、被害の拡大防止策につながることを期待する。災害時の初期活動は、まず「地域の力」であるが、地震など広域的な範囲に及ぶ災害では、近隣市町からの応援にも限界がある。以下について伺う。

- (1) 現在、災害時の協力体制を結んでいる協定の名称と協定先はどこか。
- (2) 病院間における支援体制はどのようになっているのか。

3. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 高速交通結節点の優位性を生かしたまちづくりについて

- (1) 島田金谷インターチェンジ周辺の地域振興について、進捗状況を伺う。
- (2) これまでに開催された市民との意見交換やワークショップにより、島田金谷インターチェンジ周辺はどのような方向性で地域振興を進めていくことが望ましいと考えるか伺う。
- (3) 国への特区申請ができなかったことにより、現在、インターチェンジ周辺の土地利用について何らかの影響が出てきているか。また、県の特区制度の指定を受けることでどのような特別支援措置が受けられるか伺う。

4. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 介護保険制度の充実について

(1) 「医療・介護総合法」について

この法は医療費・介護費の抑制を前提に、地域での医療と介護の総合的な確保を推進することを掲げている。しかし、医療・介護サービスの利用を制限し、負担増を強いる内容が盛り込まれていることが危惧される。以下伺う。

- ① 要支援の方が利用する通所介護、訪問介護が介護給付の枠外にされ、市が実施する地域支援事業の中に入ることになるが、その内容はどうか。
- ② 特養への入所が要介護3以上に限定され、要介護1、2は入所を特例的に認めるとしているが、その内容はどうか。
- ③ 介護サービスの利用料が所得によって1割から2割負担になり負担増となるが、その基準は何か。
- ④ 施設入所者の居住費と食費の負担軽減制度(補足給付)の要件はどうか。
- ⑤ 病院や施設への入院・入所を限定するかわりに、地域で医療や介護を提供する「地域包括ケア」の構築が目標として上げられているが、どのようなものか。

(2) 第6期(平成27年度～平成29年度)介護保険事業計画について

- ① 計画策定の進捗状況はどうか。
- ② 「高齢者の暮らしと介護についてのアンケート」結果から見えてきたものは何か。また、計画にどう反映させるのか。
- ③ 特養の待機者は何人か。また、新たな増床計画はあるのか。
- ④ 現在、65歳以上の介護保険料は基準月額4,000円となっている。応能負担を考えると、多段階にして支払い準備基金を取り崩し、介護保険料を引き下げるべきと考えるがどうか。

2. 平和行政について

(1) 安倍内閣は7月1日集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、関連法の整備に向けて動き出している。集団的自衛権の行使は多国間の戦争に参戦することであり、「戦争放棄」、「戦力不保持」を宣言している憲法第9条に違反する。解釈改憲は、立憲主義の立場からも許されるものではないと考える。集団的自衛権行使容認についての市長の見解を伺う。

(2) 「島田市平和都市宣言」を生かし、今後平和事業として取り組む内容は何か。

5. 12番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. 「まちづくり」について

染谷市長にとって、昨年度は前任者の予算を継続した年であったが、本年度は自前の予算を成立させ、本格的な動き出しの年である。

その予算の中に、将来のまちづくりを方向づける事業が幾つかある。

例えば、後期基本計画、公共施設マネジメントの実施、そして、市民にとって関心が高い新病院建設問題等々がある。

これらの事業を進めるに当たり、少子高齢化と人口減少への対応が共通テーマとなる。

(1) 新病院の建設とまちづくりについて

- ① 建設場所がまちづくりに及ぼす影響を伺う。
- ② 事業計画及び財政計画の精度確保による、事業リスク軽減についての対策を伺う。

(2) 人口問題とまちづくりについて

- ① 共通テーマへの対策として、時代の流れにあった定住促進策を伺う。
- ② 少子高齢化及び人口減少時代を考えたまちづくりのあり方を伺う。

6. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 未病医学と医療を一本化した先端医療を行い、真のシアワセ健康長寿と医師確保につなげる

- (1) 静岡県民の健康寿命が全国総合最長寿となったが、風土的な要因が多く結果は意図していないことだった。年々ふえ続ける医療費に国を挙げて官民ともに頭を抱える現状の中、静岡県は健康長寿の国際戦略特区構想を打ち出した。島田市民病院に新たに医師が入ってこないことを鑑みると、先端医療として未病医学を推進するなど市でも新たな試みをして医師確保に尽力する機会と言える。また病気にならない体づくりを市民に勧めて真の健康長寿をここから始めていく気概が必要と思うが、今後の健康福祉や医療についての考え方を伺う。
- (2) 未病医学にとって食は重要である。そうしたことから学校給食でユネスコの無形文化遺産に登録された和食を推進し、将来の健康を守っていく考えはないか伺う。

2. 島田市の未来ビジョン。10年から20年後の予測と目標について

- (1) 島田市の10年から20年後のビジョンを示してほしい。
※(ビジョンとは目標と捉える。財政、市民生活、また、総合的な未来ビジョン。)
- (2) 未来ビジョンに密接な子供たちの希望を聞く「子供議会」を開催する考えはあるか。
- (3) 若者の市外流出が懸念される中、次世代を担う小・中・高校生に将来にわたって島田市をPRしていただくために、学校内において静岡茶に関わる教育を実践していく必要性について伺う。
- (4) 周辺市町との合併について、今後どの地域を想定しているか。
- (5) 若者の定住促進がこれからの施策の柱であるべきと思うが、見解について伺う。

3. 島田市民病院の建設について

- (1) 莫大な予算で建設を急ぐ理由を伺う。
- (2) 建設費の縮減に努めるとあるが、どのような方法を想定しているか。
- (3) 建設地や予算、病床数などさまざまにこれから議論をつめていくべき事案がある中で、これだけは基本構想どおり進めたい具体的なものが当局にあれば示してほしい。

7. 17番 大石節雄 議員 (一問一答)

1. 防災・減災対策について

広島県での集中豪雨災害を受け、島田市内においても想定される災害として捉え、防災・減災対策について以下質問をする。

- (1) 同報無線その他で警報が市民に伝わる割合は、どれくらいと考えるか。
- (2) 携帯・スマートフォンを利用した防災情報配信メールを登録している市民は、どれくらいいるのか。
- (3) ハザードマップの見直しを行う予定はあるのか。
- (4) 緊急時の過疎地・辺地との連絡体制、避難勧告等の広報体制はどうなっているか。
- (5) 各支所機能に、緊急時対応での決定権を持たせるべきではないか。

2. 過疎計画自立促進計画策定について

- (1) どのようなスケジュールで作成していくのか。
- (2) 地域住民の意見集約の方法として、「過疎地域百人会議」などを開催したらどうか。

3. 地域と一体となった教育の実施について

- (1) 少子化に伴い、教員が少なく教員一人一人の負担が大きくなっていると聞いている。学校現場と地域の連携をとり、負担減少の対応はとれないか。
- (2) 今後地域との連携をとる取り組みの計画はあるか。

8. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 動物の飼育環境について

- (1) 市内における動物の年間殺処分件数はどれくらいか。
- (2) 殺処分を減らす対応はどのようにしているか。
- (3) 動物を飼う際の決まり事はないか。
- (4) 災害時の動物への対応はどのようにになっているか。

9. 16番 富澤保宏 議員 (一問一答)

1. 新市立島田市民病院建設基本構想について

新病院は候補地4カ所を比較して、現在地が適切とされた。

- (1) 耐震補強された現市役所庁舎は、今後何年使用する計画でいるのか。
- (2) 市役所の使用可能面積を約3万5,000平方メートルとしているが、閉鎖されている市民会館を除いての数値か。
- (3) 市役所を早期に特種東海製紙株式会社横井工場に建設して新病院を現市役所市民会館敷地に移転した場合、合併特例債を活用し短期的に市負担の借入金が集中することを和らげることにならないか。
- (4) 現在、ヘリポートについての戦略を持っているか。
- (5) 東館は建てかえるのか。
- (6) 現市民病院の敷地には、優良企業、大学、研究機関の誘致について戦略を組んだほうがいいのではないか。

2. 子ども・子育て支援制度について

平成27年4月から本格実施されることとなっている新制度は、市町村が実施主体となり計画の策定、給付事業が考えられている。

- (1) 島田市として考えている主要実施事業は何か。
- (2) 新制度の予算は、国の消費税増税分を入れるとどの程度を見込んでいるか。
- (3) 民間保育園の保育にかかわる方々の給与が低すぎると考えているが、給与引き上げに要する運営費を確保することについてどう考えているのか。
- (4) 今後の待機児童対策についてはどのような考えを持っているか。
- (5) 認定こども園の拡大は、どのように考えているか。

3. 地域包括ケアシステムについて

団塊世代が65歳となる2015年から75歳となる2025年の間、4回の介護保険事業計画が検討されることになる。特に、2018年から2020年までの第7期計画は地域包括本番戦と言われている。

- (1) 認知症対策については、どのような計画づくりをするつもりか。
- (2) 医療・介護の連携について、病院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の充足についての計画をどのように考えているか。

10. 13番 福田正男 議員 (一問一答)

1. 「島田市の成長戦略」パート2について

国では、ますます高まる人口減少社会に対応する戦略会議の設置や、地方創生に向けた重点施策を発表し始めている。それに伴う予算も膨大な規模になりそうである。先日発表された2015年の財務省の概算要求は101兆7,000億円で、初めて100兆円を超えた。

私は、今年の2月議会で島田市の生き残りを賭けた成長戦略について質問した。今回はその第2弾である。以下質問する。

- (1) 島田市の企業誘致の今後の戦略をどのように考えているのか。
- (2) 雇用対策はどのような目標を立てているのか。
- (3) 公共施設マネジメントの今後の進め方を伺う。
- (4) 森林を生かした産業の活性化、例えばバイオマス発電事業に対する市の考え方を伺う。
- (5) 「里山資本主義」という考え方があるが、市の見解を伺う。
- (6) PPP（パブリック プライベート パートナーシップ）という考え方に対する市の見解を伺う。

11. 18番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 島田市の定住政策について

日本創生会議が発表した人口再生能力に着目した市区町村別将来推計人口によれば、2040年までに消滅をする可能性が高いと言われる自治体は全国で896自治体に上ると言われている。

島田市では、後期基本計画で3つの重点プロジェクトを立ち上げ、うち「ほっと定住プロジェクト」では市民が安心して暮らせるよう快適な居住環境を整備するとともに、住まいを必要とする人の住居の確保を住環境整備の目指す姿としているが、今後の人口動態を踏まえた市の定住政策について以下伺う。

(1) 今後の人口動態予測について

- ① 島田市の人口について、将来推計をどのように考えているか。
- ② 後期基本計画及び他の主要な施策における人口の見通しはどのような状況であるか。

(2) 後期基本計画における「ほっと定住プロジェクト」について

- ① ほっと定住プロジェクトは人口推計等を踏まえ、市をどのような状態とすることを目指しているか。
- ② 重点プロジェクトの対応は、どのような組織体制で取り組むのか。
- ③ 重点プロジェクトの目標やスケジュールはどうなっているか。また、プロジェクトの評価はどのように行うのか。

(3) 住環境の整備について

- ① 公営住宅の現状と、民間インフラを利用した今後の取り組みの具体策について伺う。
- ② 民間事業者の事業動向と市の住環境整備の状況はどうか。
- ③ 中山間地において市有財産を有効活用することのだが、具体的にどのような方策を考えているか。

2. 地域情報化の推進について

後期基本計画では、地域情報化と電子自治体の推進が施策の柱として位置づけられ、地域情報化を推進し全ての市民が等しく高度情報化社会の恩恵を享受できることを目指す姿としている。これまでの情報化の推進と今後の取り組みについて、以下伺う。

(1) 情報通信ネットワークの充実について

- ① これまで島田市が取り組んできた情報通信ネットワークの充実の取り組み状況を伺う。
- ② 全国のブロードバンド基盤の整備はどのような状況か。
- ③ 島田市における地域情報化の課題は何か。

(2) 今後の情報通信ネットワークの充実について

- ① 今後の情報通信ネットワークの充実に向け、島田市はどのような取り組みを進めるのか。
- ② 他の自治体、通信事業者やその他関連する事業者との連携はどのように進めるのか。

12. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 農業政策について

島田市の基幹産業である茶産業は、3. 11における福島第一原子力発電所の放射能汚染数値により多大な価格被害を受けた。未だに消費者の静岡茶に対する信頼は取り戻すことができない状況にある。特に平成26年度における茶価の低迷は、今までに例を見ない深刻な結果となったことは、すでに御承知のとおりである。

島田市の農業関連事業に目を移すと、一般会計における農業費には、農業委員会費、農業総務費、農業振興費、畜産業費、土地改良費、地籍調査費、茶業振興費がありそれぞれ事業を展開している。今回は、農業費全般について質問する。

- (1) 農業委員会費のうち、耕作放棄地解消業務を行う嘱託員1人の具体的業務について伺う。
- (2) 農業振興費のうち、認定農業者等の担い手支援事務及び茶業支援事務を行う嘱託員2人の具体的業務を伺う。
- (3) 「人・農地プラン」は農地施策の基礎であるが、島田市における周知、活用、問題点を伺う。
- (4) 茶園基盤整備事業（西原地区・切山地区）の進捗状況を伺う。
- (5) がんばる認定農業者支援事業の進捗状況を伺う。
- (6) その他農業者を支援する事業が複数あるが、今後島田市の基幹産業である茶産業を再び元気にするためには、何が重要と考えるか伺う。
- (7) 島田市には、お茶の文化とお茶の販売促進を担っている「お茶の郷」がある。県は、旧金谷中学校跡地周辺を「空港ティーガーデンシティ構想」の中で「風の郷」と位置付け整備が明記された。その後以前のメッセ構想は白紙となりお茶の郷と一体化した「お茶の都」としてお茶に関する構想を検討していると聞くが、現在の状況と島田市の意向を伺う。
- (8) 想定外の災害が年々ふえて来ているように思う。人命が一番大事なことは当然であるが、家や職場を失うことやインフラ整備も重要な問題である。農地の被害は、農家にとって職場を失うことであり重要な問題である。万が一の有事のとき、島田市の農地についてどのような問題点が想定され、どのような対策を考えているか伺う。

13. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 島田市の高齢化対策の現状について

昨年日本経済新聞社が全国市区の高齢化対応度調査を実施した。介護・医療・健康づくり・生活支援・社会参加の分野に関する質問への島田市の回答や後期基本計画の内容などをもとに、市の高齢化対策について以下伺う。

- (1) 来年予定されている介護保険制度改正では、要支援1、2の2つのサービスが地域支援事業に変わるが、現在実施しているサービス内容は継続するのか。また、介護保険料はどうか。
- (2) 65歳到達者説明会への参加率が平成25年度は37%と聞いた。平成23年度の60%に比べると激減しているが、この原因をどう捉え、欠席者への事後説明はどうしているか。
- (3) 市の後期基本計画では高齢者の自立と社会参加の促進から、シルバー人材センターの活動支援をうたっている。その一方で平成22年度、平成23年度に補助金の削減を行った。その理由と削減後の活動・運営状況についての検証結果はどうか。
- (4) 高齢者を見守るネットワーク活動を進めるには、民生委員・児童委員や自治会、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどとの連携が必要だが、連携を密にするための組織はあるのか。あればどのような活動をしているのか。
- (5) 高齢者の介護等を抱える家族は、障害者や子育ての課題を抱える場合や、老老介護の場合があるが、このような複合的な事例に対してはどの部署がどのような対応をしているか。

2. 再生可能エネルギーの導入状況について

今年7月、朝日新聞社と一橋大学が共同で全国市区町村を対象に「再生可能エネルギー実態調査」を実施した。島田市の回答をもとに以下伺う。

- (1) 再生可能エネルギー導入促進の理由として、地域の活性化や遊休地、地域資源の有効活用、さらにエネルギーの地産地消、災害などのリスク対応の強化につながることを挙げている。再生可能エネルギーの導入を地域の活性化や地産地消に利用するには、具体的な事業計画・ビジョンの作成が必要だと思うがどうか。
- (2) 利用に関して課題となっていることとして、担い手になる事業者がいないことや必要となるノウハウや経験不足を挙げているが、課題解決のためどのような努力、準備をしているか。

14. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. まちづくりの施策と市民との取り組みについて

市の最上位のまちづくりの施策には島田市総合計画があり、その計画は基本構想、前期基本計画、後期基本計画で構成され、その具体化のために実施計画がつけられている。これらの計画の中で、その都度市の個々の施策が実施されてきている。

平成24年8月に「島田市まちなか集積医療基本構想」が策定されたが、昨年5月に実施された市長選挙において中心市街地への新市立島田市民病院の建設が最大の争点となった。中心市街地への病院建設に対しては、多くの市民からパブリックコメントで意見がありその計画を否定する声も多く、選挙の結果は市長交代劇となった。

中心市街地への病院建設の推進の際、当局から示されたものは島田市まちなか集積医療基本構想であり、その中では旧ジャスコ跡地への市立島田市民病院建設に伴う中心市街地の活性化の効果も示されていた。しかしながら、市長交代によりこの構想も白紙に戻され、新しく「新市立島田市民病院建設基本構想」が策定され、今後基本計画も策定されてくる。市長の政治決断で新市立島田市民病院建設基本構想が今後進められてくることになるが、以前の島田市まちなか集積医療基本構想で示された中心市街地に対する活性化の構想に対しての代替施策が一向に示されていないのが現実である。

島田市が示したまちづくりの構想に対しては、市民が大きな期待と生活の将来像を描く。金谷地区、川根地区においても合併に伴う各まちづくりの方向性が示され、それぞれの市民は島田市に対して期待をしている。以下質問する。

- (1) 島田市まちなか集積医療基本構想撤回後、市民へ説明を実施したのか。
- (2) 過去におけるまちなか活性化施策と、その効果はどうか。
- (3) 現在の本通五丁目交差点から以東地区のまちづくりへの考えはどうか。
- (4) JR各駅周辺の活性化はどのように考えているか。
- (5) 新市立島田市民病院建設基本構想における建設予定地周辺のまちづくりの考えはどうか。
- (6) 各まちづくり構想（島田市・金谷町新市建設計画、島田市・川根町まちづくり計画）の取り組みに対する具体的施策をどのように考えるか。

15. 20番 平松吉祝 議員 (一問一答)

1. スポーツ資源活用のすすめ

先の6月議会に続いて、「入るをはかる施策」としてスポーツ資源の活用について質問する。

スポーツには身体を使ったものが主体の「フィジカルスポーツ」と、思考力や計算力といった頭脳が主体の「マインドスポーツ」がある。また、その目的別に競技として勝敗や記録を主の目的として行う「チャンピオンスポーツ」と、楽しむことや身体を動かすことを主の目的とする「レクリエーションスポーツ」がある。

たかがスポーツ、されどスポーツでその奥は深く、地域住民の交流を活性化させるきっかけとして、さらには経済振興の施策の一つとして、スポーツ資源を活用してのまちづくりを提唱する。このことについて以下伺う。

- (1) 染谷市長は就任後、スポーツ行政の縮小を図っているが、入るをはかる施策として重要ではないか。市長の考えや思いを伺う。
- (2) 人口減少が続き、国内観光も誘客に大きな伸びは望めない。その中で学生スポーツは安定した市場である。スポーツ合宿誘致でまちの活性化を図るべきである。スポーツ合宿の受け入れ実績の推移と今後の課題、取り組みはどのようになっているか。
- (3) 伊太の陸上競技場建設中止から1年、建設していれば東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致に名乗りを上げることができた。現在その予定地はようになっており、今後どのようにしていくのか。
- (4) レクリエーションスポーツの活用は、今後、高齢者スポーツ、障害者スポーツなどの取り組みとともに期待できるものであるが、市としてどのような実績があり、どう取り組んでいくのか。
- (5) 小学生のスポーツ少年団活動、中学生のスポーツ部活動の取り組みも教育的見地、社会交流的見地から重要なものである。市民の善意による支援があつての活動であるが、市長はどのように捉えており、未来に向けてどのような展望があるか。

16. 10番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

1. 新島田市民病院の建設事業について

新島田市民病院建設事業については、基本構想が策定され、次の段階として基本計画の策定に向けた検討が行われようとしているが、一方で建設を予定する現地は軟弱地盤に変わりはなく、災害拠点病院としての役割を果たすことができるかどうかの判断根拠が示されていない。また、約250億円と推定される建設費が今後の市や病院の財政運営にどのような影響を及ぼすか検討されていないことや、国が示す地域包括ケア等今後の医療制度改革を見据えた病院の将来ビジョンが明らかにされていないことなど、現地を建設地とするのに十分な判断根拠となる材料が整っていないと感じる。

基本計画策定業務に入る前に、今一度調査・検討を行い、明らかにすべき重要な事項があると思われるため、以下について伺う。

- (1) 基本計画では何を定めるのか。内容を伺う。
- (2) 基本計画を策定する前に地質調査を行わない理由について伺う。
- (3) 建築技術により現地への建設は可能であるとしても、現地の防災面での評価はかなり低いがどのように考えているのか伺う。
- (4) 建設後の財政見通しが示せない理由は何か伺う。
- (5) 計画する病床規模に見合う医師確保の見通しはどうか伺う。

17. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

平成23年に「スポーツ基本法」が制定され、島田市においては平成25年度に「島田市スポーツ振興推進計画」を策定した。また、平成26年度を初年度とした後期基本計画の第6章ではスポーツの振興について施策の方向が示されている。

これらのことを踏まえて以下の事項を伺う。

1. 島田市のスポーツ行政について

(1) 大井川河川敷を会場とするイベントについて

- ① しまだ大井川マラソン in リバティ、元日マラソン、島田駅伝それぞれの最近の参加状況はどうか。
- ② それぞれの課題は何かあるか。

(2) 市内のテニス場について

- ① 最近の利用状況はどうか。
- ② 課題は何かあるか。

(3) 障害者のスポーツ活動支援について

- ① 島田市にはどのくらいの障害者の方がいて、どのくらいの方がスポーツ活動をしているのか。
- ② 現状からどのような問題点があり、市としてどのような支援をしているか。

(4) スポーツ活動について、実態調査アンケートを実施する予定はあるか。

(5) 田代の郷スポーツ施設について、整備事業は現時点でどのように進める予定か。

2. 小・中学校の体育、部活動について

(1) 20年後、30年後の学校での指導は、どのようになっていると想定するか。

(2) その想定について今から何をすべきと考えるか。

18. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 全国学力・学習状況調査について

- (1) 今年度の結果について伺う。
- (2) 今年度と昨年度までとの取り組みの違いは何か。
- (3) 今年度の反省点は何か。
- (4) 今後の取り組みはどうか。

2. 次世代育成支援島田市行動計画後期計画について

- (1) 「保育園・幼稚園の園児と地域の小・中・高校生との交流」について
 - ① 具体的な事業内容は何か。
 - ② 問題点は何か。
- (2) 「子どもの安全な居場所づくり」事業について
 - ① 具体的な事業内容は何か。
 - ② 現状はどうか。
 - ③ 今後の予定はどうか。